

Q.実習・就職を経て、星総合病院の魅力は何ですか？

—学生時代、臨床実習でお世話になった病院です。高校生の時にも病院見学に来たことがあり、その時から気になっていました。実際に実習に来てみて、明るい雰囲気印象的でした。患者さんとのコミュニケーションはもちろん、スタッフ間や多職種とのやりとりも活発で、みんなで患者さんをみている病院だなと思っていました。実習生に対しても先輩方が「大丈夫?」「どこの領域を見ているの?」と優しく声をかけてくださり、心細く感じる実習も救われる部分が多かったです。コミュニケーションの活発さを客観的に見ることができ、就職した今は、自分自身もそうなりたいと心がけています。総合病院ということで、様々な疾患をみることで、そこでのリハビリの関わりを学びたいと思っていました。関連施設も多く、理学療法士として多くの分野を学べることに魅力を感じていました。また説明会などで、健康教室やかがやき健康館でのプールプログラムなど、患者さんだけでなく地域の方への活動も耳にしていたので興味がありました。自分が過ごした地元で貢献したい、関わりたいという気持ちが背中を押してくれようと思います。最近だと、健康教室への参加やピンクリボン運動の啓発で地域のマラソン大会に出場したりと、自分自身も楽しみながら活動に参加しました。臨床・病院の中だけではなく、自分が関われる活動もあるんだと感じられるようになってきました。

Q.コロナ禍での入職で大変ななか、「ローテーション教育システム」をどのように体感していますか？

—半年ごとに運動器→脳神経→消化器→循環器・ICU、3年目の現在は回復期に所属しています。いろいろな疾患をみたいと思っていたので、とても勉強になる制度だと思います。半年ごとに知識や覚えることがたくさんあって、勉強することや自分から学ばないといけないこともあり、大変ではありました。でも逆に言えば、学べる環境を作ってもらえるのはありがたみがありました。プリセプターをはじめ教えてくれる先輩方がいて、関わり方の幅が広がる良い制度だと思います。もっと深く知りたい!と思える頃に異動になるので目まぐるしさはありましたね(笑)。自分の興味を発見できる機会になるし、関わる人も異動毎に増えるので、コミュニケーション力が磨かれていくと思います。

Q.仕事と私生活のメリハリ、コロナ禍での楽しみの見つけ方は何かありましたか？

—もちろん譲り合いの部分はありますが、休みの希望は比較的通りやすいです。体を休める時間は作れていました。最近では少し余裕も出てきて、プライベートで習い事に行く時間なども作れるようになったんです!そういった時間の使い方やON/OFFの切り替えは出来ていると思います。職場の中でも共通の趣味や楽しみを共有して刺激をもらったりすることもありますね。休みを利用して研修会や新人教育プログラムに参加することもありました。時期によって症例発表の準備などしながら、勉強の時間も確保しています。

Q.今後の目標について教えてください。

—色々な領域を回らせてもらい、患者さんとの関わり方を経験していく中で、自分が関わるひとりひとりの方に向き合って、ベストな状態を手助けできたらいいと思います。そのために各領域の知識を深めていったり、多職種との連携を密に図れるように成長していきたいです。試行錯誤しながらではありますが、先輩方が一生懸命に動いている姿を見ると自分もいつかは同じようになれば、と憧れます。まずは目の前のことや自分自身にできることから積み重ねていきたいです。

Q.最後に、就職を検討している方へ一言!

—見学や説明会など、一度自分の目で見てみるのが大切かなと思います。身近に働いている人の情報は判断材料になると思います。入職したときは「やっていけるかな」と不安もありましたが、新人教育システムもあり、先輩方が親身になって手助けしてくれる病院のため、働きやすい環境だと思っています。ぜひ一緒に働くことができれば嬉しいです!